

試験研究（事前）評価整理表

試験研究機関 衛生研究所
 所管課(室) 薬務課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	Ⅱ-3-② ライフステージや疾病に応じた保健予防対策の充実 Ⅱ-3-⑤ 生活衛生等の確保(食品等の安全の確保)	感染症対策及び食中毒の防止	腸管系ウイルス不顕性感染のリスク分析	腸管系ウイルスの感染に不顕性感染者が関与している可能性が示唆されているが、その詳細な実態は不明である。不顕性感染率の算定や分子疫学的解析から地域流行や食中毒、集団感染に対するリスク分析を行うことを目的とする。	1. 健常者から採取した便における腸管系ウイルスの検索(リアルタイムPCRを用いた高感度検出法) 2. 検出されたウイルスの分子疫学的解析(地域流行との関連性)	25	27	A	腸管系ウイルスの不顕性感染の実態調査及び地域流行との関連性の解析調査を行うことにより、本県における食中毒及び集団感染対策において、科学的に根拠が付与された予防対策の構築が可能となる。	今日的な課題を、最新の技術を駆使して取り組もうとしているすぐれた研究課題といえます。ポピュレーションにおける不顕性感染の割合をとらえるのに十分な例数が集まるような計画になっています。3年度に渡って、到達目標が同じであるのは、引き続き充実させてゆくということでしょうか。

試験研究機関名 ハイテクプラザ
 所管課 産業創出課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
2	中小企業の復旧・復興	取引拡大・販路開拓支援	県オリジナル農産物等の機能性成分を活かした加工技術の開発	本県オリジナル育成品種及び地域特産農産物の機能性成分を研究し、県内食品加工業者での新規加工品流通・消費拡大を図るとともに、健康関連産業への展開を目指す。	本県オリジナル農産物及び地域特産農産物の機能性成分を把握し、機能性成分に優れた品種での加工方法を開発・確立し、付加価値を高め6次化を進めるとともに健康関連産業への展開を目指す。	25	27	A	業界ニーズも高く、6次化推進のためにも実施すべき。	食品の加工については、健康志向や医療での利用もあり、ヘルスイノベーションとして期待が大きい分野である。農業から見ると6次化推進という面があるが、残渣の利用ではなく、出口を意識した開発が不可欠であると思われる。周到なマーケティングや戦略のもとに実施されたい。
3	中小企業の復旧・復興	取引拡大・販路開拓支援	福島発小型モビリティ開発事業	今後、近距離移動の手段として小型モビリティの普及が想定されることから、事故防止や緊急通報等の安全機能支援として、スマートフォンによる車車間・歩車間通信技術を実現する。	県内参加企業、県及び大学・研究機関の研究者が中心となり電気自動車の部品・新技術の研究開発及び試作の小型モビリティへスマートフォンによる移動通信技術を応用する。	25	25	B	県の重点施策に沿うものであり、取り組むべき。	小型モビリティ開発の継続的な取り組みとして理解できる。自動車産業の積極的な取り組みがある分野であることから、研究開発課題を絞って迅速な開発が必要と思われる。スマートフォンの高度化した性能と機能の利用は、安全に関わるので検知や制御の応答性など適切性を評価してほしい。
4	新たな時代をリードする産業の創出	再生可能エネルギー関連産業の育成	太陽光発電パネルの状態監視装置における通信方法の検討	現在、有線で行われている太陽光発電用PVパネルの状態監視手法を無線通信に置き換え、メンテナンス性や汎用性を高める。	太陽光発電用PVパネルの状態監視装置における通信装置を有線方式から無線方式に変更し、汎用性を持たせる。また、最適な通信手順を検討し、サーバによるデータ管理機能を付加する。	25	26	B	研究ニーズはあるので、研究内容をより精査した上で実施すべき。	有線を無線にすることの意義付けやメリットの主張が重要である。効率的な発電のためにはPVパネル管理の省力化システム化は不可欠であるが、データの集積管理ではなく、効率的な発電システムの構築や運用管理などの高度化した目的を設定しながら取り組んでほしい。
5	新たな時代をリードする産業の創出	再生可能エネルギー関連産業の育成	ふくしま再生・風評払拭・リサイクル植物工場の開発	・県内半導体関連産業の新規参入支援 ・県内植物工場周辺産業支援(LEDライト、調光技術など) ・(避難指示区域等の農業支援)	植物工場の課題であったLED光による生育の遅れを、機構やLED照射条件の改善により解決する。更に、太陽光発電等の導入により管理・維持経費を削減することで、再生可能エネルギー関連産業など関連分野の産業振興を図る。	25	27	C	先行事例等を充分精査し、計画の見直しを図るべき。	植物工場への取り組みについては、多くの大学や研究機関、企業等が取り組んでおり、差別化を図る技術的要素の抽出が不可欠な状況にある。研究組織としては適切と思うが、多額の経費使用が予定されていることから、開発する技術の優位性を確認してほしい。